

## ユニセフ講座

### 子どもの権利条約を学ぼう！ (仮称)

ゲスト ◎CAP岩手様 ◎インクル子ども食堂様

日時 2022年**10月1日** 13:30～15:30

会場 岩手県自治会館 第1会議室

定員 35名 参加費 **無料** (要予約)

内容 ①「子どもの権利条約」って？  
②岩手で子どものために活動している団体のお話

受付 9月1日～ 岩手県ユニセフ協会まで



## ユニセフ出前講座のご案内

岩手県ユニセフ協会では、世界の子どもの現状・ユニセフの活動について、知ってもらうことを目的に「ユニセフ出前講座」を行っています。学校・団体などの要請にお応えして、ユニセフのボランティアスタッフが伺います。お気軽にご連絡ください。



▲盛岡市立上田小学校 5年生



▲いわて生協親子企画

## 賛助会員募集

年1回、会費をいただき、岩手県ユニセフ協会の活動を継続して支えていただく賛助会員制度です。会員のみならずには、ニュースやイベント案内をお届けしています。

一般会員 (個人ならどなたでも) 1口 / 5,000円

学生会員 (18才以上の学生) 1口 / 2,000円

団体会員 (団体・法人・企業) 1口 / 100,000円

### 集めています！

- ・使用済み切手
- ・書き損じはがき
- ・外国コイン

これらも募金になります



※お持ちの方は、ご連絡ください。

## ボランティア募集



世界の子どもたちを応援してください。

- ユニセフでは…
- ・募金活動
  - ・学校などへの出前講座
  - ・学習会・パネル展示



などをボランティアのみなさんで行っています。あなたもぜひ参加してみませんか？



Iwate Association for UNICEF

2022年7月

【発行】

岩手県ユニセフ協会

〒020-0690  
岩手県滝沢市土沢220-3 いわて生協本部2F  
TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491  
e-mail : sn.iunicef\_iwate@todock.coop  
ホームページ http://www.unicef-iwate.jp/

## ウクライナ緊急募金 / アフガニスタン地震 自然災害緊急募金

### ウクライナ

ウクライナでは、2月から続く戦闘によって、今すぐに人道支援を必要としている子どもの数は、ウクライナ国内で300万人、避難先の難民受け入れ国で220万人以上にものぼっています。ユニセフはウクライナ国内に留まり、子どもたちと家族のための支援活動を継続するとともに、周辺国に避難しているウクライナ難民支援も強化しています。



© UNICEF/JN0649047/Klochko

ザポリージャにある難民受け入れセンターで、ユニセフ支援物資のスクールバッグなどを受け取った子どもたち。(ウクライナ、2022年5月24日撮影)

ご寄付は、被害を受けた子どもと家族への安全な飲み水や衛生用品等の緊急支援物資の提供、教育の再開支援、家族・友人を失い心に傷を負った子どもの心理社会的サポートなど、ユニセフが被災地で行う緊急・復興支援活動に役立てられます。

### アフガニスタン

6月22日未明、アフガニスタン東部を襲った大地震により、多くの子どもを含む700人以上が亡くなりました(6月23日時点)。大雨、風、地滑りによって大きな支障が出ていると報告されています。ユニセフは被災地に保健・栄養チームを派遣し、負傷者への医療支援を行うとともに、調理器具や石鹸・生理用品を含む衛生用品、毛布、テント、防水シートなどの緊急支援物資の配布を行っています。



© UNICEF/UN0660499/Nazari

パクティカ州・ガヤン地区で倒壊した自宅の前に立つ子どもたち。(アフガニスタン、2022年6月22日撮影)

## 《郵便局》(ゆうちょ銀行) 振替口座

ゆうちょ銀行のサービス改定で、現金での振り込みに硬貨手数料が新設されましたが、下記の口座については窓口の場合、硬貨手数料・振込手数料ともにかかりません。

振替口座：00190-5-31000 (窓口の場合 手数料免除)

口座名義：公益財団法人日本ユニセフ協会

※通信欄に「ウクライナK1030」または「自然災害K1030」と明記してください。(明記がない場合は一般募金になります)

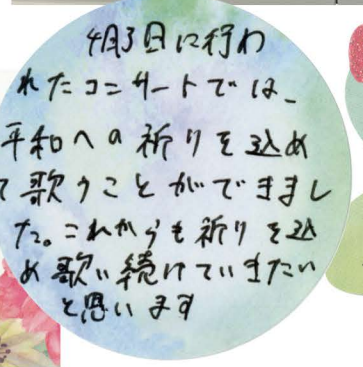
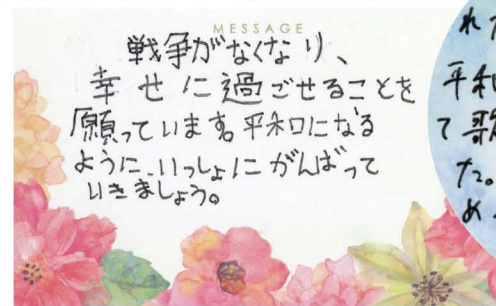
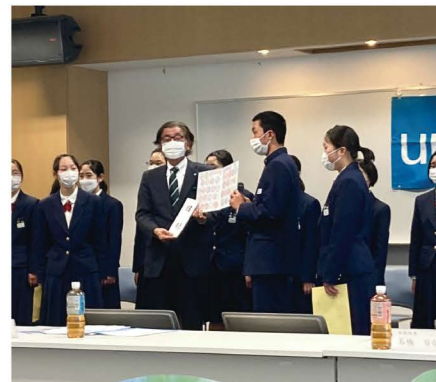
※振込用紙をご希望の方は、岩手県ユニセフ協会へご連絡ください。TEL 019-687-4460 (月～木 / 10:00～15:00)

緊急募金にご協力をお願いします

# ウクライナ緊急募金に さまざまなご協力をいただきました!



3月に行われる予定だった 声楽アンサンブルコンテストの全国大会が、福島の地震のために中止となり、本県から出場予定だった3校が県内で合同開催したコンサートの収益を寄付してくださいました。黒沢尻北小合唱部、矢巾北中特設合唱部、不来方高校音楽部の3校を代表して、矢巾北中の生徒さんがユニセフ理事会で募金贈呈と歌声の披露をしてくださいました。3校の生徒さんからは、平和を願うメッセージも届きました。



県内のみなさまから  
 ・いわて生協 ・熊野神社有志会 ・盛岡市アーチェリー協会  
 ・花巻工業クラブ ・花巻市立花巻北中学校 ※このほかにも多くの方々からユニセフ募金が届いています。



▲花巻工業クラブ様



▲いわて生協様



▲盛岡アーチェリー協会様

ユニセフ東京事務所 ベネス代表に聞きました。 2022年5月3日岩手日報記事抜粋



「ウクライナの場合は生活が完全に破壊され、経済も長期的な打撃がある。貧困や格差が今回の危機でさらに悪化すると懸われる。復興は時間がかかる。学校、病院の再建、親の就業。長い目ではトラウマからの回復、ケアが重要だ。」  
 「さらに世界の注目がウクライナだけに向き、アフリカニスタン、シリア、1千万人の子どもたちが影響を受けている。アフリカの干ばつなど他の危機が忘れ去られることを懸念する。」  
 「岩手の人たちにメッセージを。」  
 「岩手県民には感謝している。県ユニセフ協会(会長・東根千万億岩手日報社長)を、中心に活動し、最も早くウクライナ支援の募金キャンペーンを立ち上げた県の一つだ。子どもたちはかつてないほどの困難に直面し、いまだ子どもたちは皆さんの支援を必要としている。」

～世界の子どもたちに想いをよせて～

## 第10回 ユニセフ・ラブウォーク in いわて

思い思いのペースで歩いた汗が、ユニセフを通じて世界の子どもたちの健康に役立てられるユニセフ・ラブウォーク。

日時: 5月15日(日) 9:15 ~ 12:00  
 共催: 岩手県ウォーキング協会、盛岡市ウォーキング協会  
 協賛: いわて生協、コープ共済、岩手日報社

3年ぶりのラブウォークは、コロナの感染者数が減らない状況での開催でしたが、93名みんな元気に歩きました。ウォーキング協会さんには当日だけでなく、打ち合わせや下見などのご協力をいただきました。参加者の感想「車で移動していると見逃している景色が見られた」「風が気持ちよかった」など。お楽しみ抽選会も大好評。当日の参加費はユニセフ募金へ。

(募金額39,600円)



▲石橋百合子専務と司会の盛岡大学 佐藤愛実さん



▲盛岡大学学生委員会のみなさんとユニセフのスタッフ

